年次有給休暇を活用して秩父のイベントに出かけましょう！

11月	12月	1月	2月	3月
紅葉				
	★12/3(木) 秩父夜祭り本祭			
		氷柱	氷柱	
		ロウバイ	ロウバイ	
			節分草	節分草
				カタクリ
	いちご狩り	いちご狩り	いちご狩り	いちご狩り

秩父地域おすすめイベント

紅葉

10月に奥秩父から始まり、11月下旬の里山まで続きます。
秩父市大滝の中津峡をはじめ、皆野町の県指定天然記念物「国神の大銀杏」、小鹿野町の秩父三階の滝と呼ばれる名瀑「丸神の滝」周辺の紅葉など見どころが充実。長瀞町では紅葉まつりとして月の石もみじ公園や宝登山神社などでライトアップが、また、皆野町でも今年から「秩父華厳の滝」でライトアップが行われます。

氷柱

氷柱は秩父地方の冬の厳しさが作り上げる氷の芸術です。
奥秩父の「三十槌（みそつち）の氷柱」、小鹿野町の「尾ノ内氷柱」、横瀬町の「あしがくぼの氷柱」の秩父三大氷柱は、1月上旬から2月下旬が見ごろとなります。
週末にはライトアップした幻想的な氷柱を見ることもできます。

花

小鹿野町両神小森堂上では節分草が例年2月下旬から3月中旬に咲きます。
長瀞町では1月上旬～2月中旬、宝登山山頂斜面に3種類2500本のロウバイが咲き誇ります。
3月下旬からはカタクリの花が咲き始めます。大塚カタクリの里、長瀞カタクリの郷、皆野町カタクリの里、あしがくぼ山の花道など各地に群生地があります。

いちご狩り

いちご狩りは秩父市、長瀞町、小鹿野町、横瀬町にて、早い農園で12月中旬頃からオープンしはじめます。

年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しましょう！

なぜ休暇の取得が必要なの？

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現のためには、労働時間や休日数、年次有給休暇の取得状況など、従業員の健康と生活に配慮し、多様な生き方に対応したものへ改善することが重要です。

年次有給休暇の取得促進 ▶ **社員にも会社にもメリット**

計画的な年次有給休暇の取得により・・・

- ☆仕事の生産性向上！
- ☆企業イメージの向上！
- ☆優秀な人材の確保！

年次有給休暇をしっかりと取得できないと・・・

- ◇労働者のストレス増加
- ◇職場の雰囲気の悪化
- ◇残業などのコストの増加

「働き方・休み方改善ポータルサイト」を活用して、働き方・休み方改善のヒントを見つけましょう

厚生労働省が運営する「**働き方・休み方改善ポータルサイト**（http://work-holiday.mhlw.go.jp）」では、**働き方・休み方の改善に役立つ情報**をご提供しています。

- ◆働き方・休み方改善指標（所定外労働の状況、年次有給休暇の取得率等）による自己診断ができます。
- ◆診断結果に基づく対策方法をご提案しています。
- ◆企業の具体的な取組事例（所定外労働の削減、年次有給休暇の取得促進、朝型の働き方の取組等）をご紹介しています。
- ◆働き方・休み方改革に関する自治体の取組を掲載しています。

働き方・休み方改善ポータルサイト　検索

お問合せ先
【厚生労働省委託事業実施機関】株式会社日本能率協会総合研究所
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 TEL:03-3578-7671
http://www.jmar.co.jp/nenjiyukyu/

働く人にやさしく、すみやすいまち「ちちぶ」を目指そう！

年次有給休暇 活用のススメ

家庭も会社も地域の一部。みんなで取り組もう！

秩父華厳の滝（皆野町）
月の石もみじ公園（長瀞町）
コミネモミジ（横瀬町）

「おにぎり通信～ダメママ日記～」
二ノ宮知子（集英社「月刊YOU」連載中）
© 二ノ宮知子／集英社

二ノ宮知子先生は皆野町出身でみなの観光大使になっています！

尾ノ内渓谷の氷柱（小鹿野町）
あしがくぼの氷柱（横瀬町）
秩父夜祭り（秩父市）
三十槌（みそつち）の氷柱（秩父市）

厚生労働省　埼玉労働局　秩父労働基準監督署
秩父市　横瀬町　皆野町　長瀞町　小鹿野町
一般社団法人 秩父地区労働基準協会

休暇取得に向けた環境づくりに取り組みましょう!!

休暇の取得促進に向けて、
労使が協力して取り組むことが必要です。
具体的には・・・

1 経営のトップによる社内への休暇取得促進の呼びかけ

2 管理者が率先して休暇を取得

3 労働組合等による企業、労働者への働きかけ

などが考えられます。

休暇の計画的な取得のために、事業場全体の年間計画に、年次有給休暇を 組み込みましょう！

Step 1 労働時間等見直しガイドライン

① 仕事の仕方を見直して、労働時間を短縮しましょう

従業員が健康で充実した生活を送れるよう、労働時間を短縮し、生活時間を十分確保できるようにしましょう。

② 従業員一人ひとりのさまざまな事情へ対応して働く意欲を高めましょう

・労働時間等の設定の改善にあたって、労使による話し合いの体制を整備しましょう。
・従業員一人ひとりのさまざまな事情を踏まえ個々に対応しましょう。

③ 経営者が率先して取り組みましょう

経営者は労働時間について積極的に理解を深め、自ら率先し職場の環境を変えるための意識改革や柔軟な働き方の実現に取り組みましょう。

Step 2 事業場での具体的な取組

① 労使間の話し合いの機会をつくる

従業員の労働時間や心身の健康状態、年次有給休暇の取得状況などを労使で共有しましょう。

② 年次有給休暇を取得しやすい環境整備

年次有給休暇を取得しやすい雰囲気づくりを進め、取得状況をこまめに確認するなどしましょう。

③ 所定外労働を削減する

ノー残業デーを導入したり、長時間労働が続いている場合は、その原因を検討し業務内容を見直しましょう。

Step 3 年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しましょう！

年次有給休暇の計画的付与制度とは

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの分については、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。
この制度を導入することによって、休暇取得の確実性が高まり、予定した活動を行いやすくなります。

◆付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の日数にできます

年次有給休暇の付与日数のうち５日は、個人が自由に取得できる日数として必ず残しておかなければなりませんが、残りの日数は計画的付与の対象にできます。

例１　年次有給休暇の付与日数が 10 日の従業員

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

例２　年次有給休暇の付与日数が 20 日の従業員

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から５日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます

◆企業や事業場の実態に応じた方法を活用しましょう

①企業または事業場全体の休業による一斉付与方式

全従業員に対して同一の日に年次有給休暇を与える方法。製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用されています。

②班・グループ別の交替制付与方式

班・グループに交替で年次有給休暇を付与する方法。流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場で活用されています。

③年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式

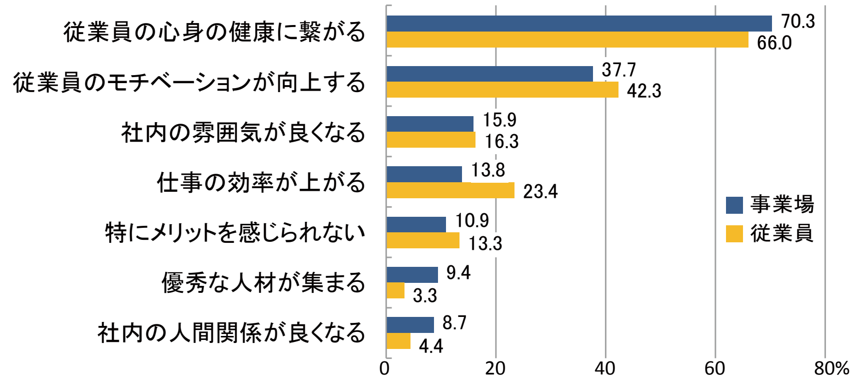
年次有給休暇を付与する日を個人別に決める方法。夏季、年末年始、ゴールデンウィークのほか、誕生日や結婚記念日など従業員の個人的な記念日を優先的に充てるケースがあります。

●年休を取得することのメリットは

昨年度の取組後のアンケートで、秩父地域の休暇の現状と今後の方向性について調査しました。

『従業員が年次有給休暇を取得することのメリット』を尋ねたところ、事業場、従業員ともに、「心身の健康につながる」、「モチベーションが向上する」、「社内の雰囲気が良くなる」、「仕事の効率が上がる」という回答が多くみられました。

従業員が年次有給休暇を取得することのメリット（複数回答）



（平成 26 年度事業アンケート結果より）

●秩父地域ではこんな取組をしている事業場があります

年休の計画的付与

次年度のカレンダーを前年度の 11 月位に作成する際に、年休の計画的付与日数3日間を秩父事業所版のカレンダーに組み込んでいます。
年休の３日間の使い方としては、夏のお盆期間の土日、年末年始、5 月のゴールデンウィーク等に繋げて、連続して休めるようにしています。

応援体制作り

作業班内での移動ができるように、専従ではなく、多能工化し、ある作業班で人手が足りなくなると、応援ができる体制を作っています。そのため、年休を取得しやすい雰囲気があります。
また、年休の取得が少ない人には個人面談の際、取得に向けた働きかけを行っています。

年休の取得状況把握

年次有給休暇取得率 100% を目指して、各人の取得状況をチェックしたり、定期的な研修の際に健康管理の重要性をテーマにして年休取得の働きかけを行っています。
一部の部門では、週・月のミーティングの際に上司が従業員に対して年休取得の予定を出すように働きかけています。

年休取得目標の設定

今年度から、各職員が月１日を目安に年休を取得できるようにシフトを組むことを部門責任者に指示しています。
来年度は職員全員が年間 15 日取得することを目標にしています。